



本校は、浜松駅から西に2kmほど離れたところに位置し地元の方たちから「お鴨江さん」の愛称で親しまれている鴨江寺のすぐそばにあります。「出世城」で有名な浜松城にも近いことから日本の伝統文化が歴史に直接触れることができ、さらに周辺には市役所や図書館、博物館、美術館等の施設が集中しています。

地域や保護者の方々も普段から「学校と子供たちのために」と学校行事や授業等のボランティア活動に積極的に協力してくださり子供たちや教職員との大切な交流の機会となっています。

このような恵まれた環境の中、全校372名の子供たちが日々ともに学んでいます。本校は学校教育目標に「進んで学び共に世界で生きる子」を掲げています。本校の子供たちは好奇心旺盛で明るく

本校は全校生徒数206名の中学校で、静岡県西部の山間地に位置し、高い山々に囲まれ、町の中央には太田川が流れています。蔵のある街並みや由緒あるお宮やお寺も多く、古くから伝承されてきた舞楽や祭りは暮らしの中に息づいています。静かな展望のきく高台に建つ校舎からは、豊かな自然や、美しい田園の四季を望むことができます。

本校の学校教育目標は、「自ら学び、共に歩み、未来を拓く生徒」です。生徒は、素直で明るく、生徒同士・教職員との関係も良好で、落ち着いた雰囲気の中、諸活動に取り組んでいます。さわやかな挨拶ができ、ボランティア

素直な心を持ち、誰にでも分け隔てなく親しく関わることができる。

しかしその一方で、他者とコミュニケーションが上手にとれず悩む子供、自分の気持ちを言葉で表し伝えることに困難さを感じている子供も多数います。現に保健室来室者の中には、自分のけがの状態や体調について、また自分



養護教諭 太田 清巴

### 浜松市立西小学校

の気持ちを説明できず黙ったまま立ちすくんでしまう姿やただ一言「痛い」とだけつぶやき姿も多く見られます。保健室として目指す子供の姿に、自分のことを自分で考え整理し、言葉にして相手に伝えられることを挙げています。

その一つの取り組みとして令和6年度の学校保健週間では「リフレミング」について取り上げ、子供た

自分自身のことにより興味をもち、考えられるよう働きかけていきたいです。そして自信をつけることで自分のことを言葉で表現し、相手に伝えられる子供を育てたいです。

学校全体の活動では毎年、子供一人ひとりが気持ちのよいコミュニケーションについて考え実践する取り組みとして『ふわふわ言葉週間』を学期ごとに一

ありがとうと言ってもらえうれしかった。〇〇さんが頑張れと応援している姿に自分も誰かの背中を押してあげられるような声かけをしたいと思います。なごたくさんの素敵な場面が挙げられていました。また職員からは「子供たちが自分の使っている言葉や言い方・伝え方について見つめ直す良い機会となっている」「子供同士で言葉

ちに自分のよいところや苦手なところに気付き考えてもらう活動を行いました。保健室の掲示板を使い、苦手なところも見方をひっくり返すよいところになるという体験をした子供たちの嬉しそうな笑顔が印象に残っています。

このような体験を積み重ねることで子供たちの自己肯定感の向上につなげ

回設定しています。この取り組みでは子供が互いの言動に目を向け合い、心が温かく前向きになるような言葉かけを積極的に行うことにより、子供が互いに尊重し合い自他の存在を大切にする心や他者を思いやる心を育てていくことを目標としています。取り組み実践後の子供の振り返りでは「友達から



学校外観



養護教諭 松浦知佐子

### 森町立旭が丘中学校

活動に積極的に参加する生徒が多く、地域にも誇れる姿を見せてくれています。一方で、生徒指導上のトラブルや不登校の問題など、モラルやレジリエンスに関する課題もありません。VUCAな時代や社

私は本校に在任して4年目になります。生徒数は年々減少する一方、保健室の利用者数は増加しており、ニーズが多岐に渡ることを日々感じています。睡眠不足や朝食欠食などの生活習慣が原因の不調、

健康課題といえます。毎月設定している「健康の日」では、年度当初に自分に合ったメディア利用の目標を立て、その目標と基本的な生活習慣を送ることができたかどうかの振り返りを行っています。

会に生きる子どもたちが、よりよい未来を創り上げていくために、「自らの目標や進路を見通して主体的に学習活動に取り組み、必要な学力や課題解決能力を確実に身に付けようとする姿勢」や、「自己指導能力」、「レジリエンス」等、本校の生徒に身に付けさせていきたい資質です。

成長期ならではの悩み、人間関係のトラブル、家庭の問題、発達の課題への対応等、理由は様々ですが中には複雑な問題を抱えている生徒もいます。その中でも、メディア利用に関する課題は、就寝時刻や朝の目覚め、朝食摂取等の基本的な生活習慣への影響も大きく、本校

また、年2回、校区の小学校と合同でメディアコントロールデーを計画し、家庭の協力を得ながらメディア利用に関する課題解決に向けて進めています。どちらの取り組みに対しても子どもたちの意識は高いですが、実施以外の日に自ら意識して行動できているかという点、まだ十分とはいえません。子どもたちが



学校外観

## 静岡県庁

### げんきな事業所

#### (静岡市葵区追手町9番6号)



県庁と桜

静岡県職員厚生課は、駿府城外堀内の県庁東館十五階にあります。県(学校や警察等を除く)には、本庁と出先機関があり、職員数は約6,900人(正規5,700人、非常勤1,200人)です。

職場の安全衛生として、本庁及び各出先機関に衛生委員会を設置し、産業医や衛生担当者と共に職場の安全衛生に関する対策を検討したり、職場巡視を行うなど、職員が安全で快適に働くための環境作りに取り組んでいます。

【健康診断】定期健康診断では、有所見者への受診勧奨のほか、体重の増減が前年度一〇%以上の職員に、

【保健指導】保健指導は、生活習慣病予防の観点から、二十歳〜三十歳代への予防的な関わりを強化しています。新規採用時等職員研修で若い頃から心身の健康管理について啓発するとともに、

【メンタルヘルス】メンタル不調による長期療養者支援として、所属衛生担当者とともに、本人の受診に同行



職員厚生課職員

員に速やかに連絡し、精神的なストレス等の有無も確認しています。これは、体重と精神的なストレスには関係があることから、早期予防として働きかけています。

また、問診時にメンタル的な訴えがある、または相談希望がある職員を、担当保健師につなげるなど、ここから双方の健康に向けてアプローチしています。

保健指導は、生活習慣病予防の観点から、二十歳〜三十歳代への予防的な関わりを強化しています。新規採用時等職員研修で若い頃から心身の健康管理について啓発するとともに、

また、推定野菜摂取量や体脂肪量の測定、含む集団指導も行い、食生活や運動について見直す場を提供し行動変容への動機付けを行っています。

なお、四十歳以上を対象とした特定保健指導は、検診機関や指導実施機関に委託し、対象者それぞれの都合に合わせて直接対面やオンラインで支援を受けられるようにし、実施率の向上を目指しています。

また、集団分析で職場支援が良好であった所へ、所属の聞き取り、総合健康リスク値が高い所属に対し、総括産業医と所属長との面談やグループワークを実施し、その取組事



健康づくり講習会 運動

もに、定期健康診断の結果、特に受診状況の確認や生活習慣病(含む重症化)予防が必要職員約400人を対象に、本庁や各総合庁舎において保健師や管理栄養士による保健指導を行っています。

また、推定野菜摂取量や体脂肪量の測定、含む集団指導も行い、食生活や運動について見直す場を提供し行動変容への動機付けを行っています。

なお、四十歳以上を対象とした特定保健指導は、検診機関や指導実施機関に委託し、対象者それぞれの都合に合わせて直接対面やオンラインで支援を受けられるようにし、実施率の向上を目指しています。

また、集団分析で職場支援が良好であった所へ、所属の聞き取り、総合健康リスク値が高い所属に対し、総括産業医と所属長との面談やグループワークを実施し、その取組事

して主治医と面談する機会や職場復帰前後に職場復帰相談医に所属の対応や配慮事項を相談する機会を設ける等、円滑な職場復帰と再発防止に努めています。

一方、予防や早めの対応が重要であることから、各種研修会や職員向け掲示板等を活用した職員自身によるセルフケアや管理監督者によるラインケアについての啓発や相談窓口の整備と利用促進を図っています。

加えてストレスチェック検査では、職員のストレスへの気づきを促し、高ストレス者には、カウンセラーや産業医等による面接の機会を提供しています。

また、集団分析で職場支援が良好であった所へ、所属の聞き取り、総合健康リスク値が高い所属に対し、総括産業医と所属長との面談やグループワークを実施し、その取組事

例を紹介しています。若年層への対策として、入庁直後の新規採用者に、所属での面談を通じては当課と情報共有の上、必要に応じて支援しています。そして、初めて人事異動を経験する時期を捉え、4年次職員研修時に個別面談を実施し、必要な職員には研修後に当課との面談や相談窓口の紹介等の支援を行っています。

このように、職員の安全衛生について、関連法令や通知に基づいた対応のほか、毎年、健康診断結果や長期療養等に関する分析を行い、必要な対策を講じています。

今後も職員一人ひとりの『ウェルビーイング実現』のため、職員の健康管理施策を推進していきます。